

西 区

弁天島シンボルタワー電気ケーブル取替え事業について

課題

- ・弁天島シンボルタワーは昭和 48 年に設置され、以来、弁天島のシンボルとして市内外に広く認知されており、表浜名湖を象徴する建造物となっている。
- ・夜間にはライトアップも施し、観光都市・浜松としての広告塔の役割も担っているが、電気ケーブルの老朽化が著しく、今後、不点灯の事態を招かぬよう早急な取替え工事を行う必要がある。
- ・また、舞阪町観光協会からの要望事項でもあり、観光施設整備という観点からも早急な対応が望まれている。

平成 22 年度の方針

- ・昨年の点検結果では電気系統の異常は認められていないが、引き続き、本課（観光コンベンション課）と調整しながら、早急な取替えを目指したい。

西 区

雄踏文化センター施設整備事業について

課題

- ・雄踏文化センターは、生涯学習の推進及び文化の振興等を図ることを目的に、平成元年12月に竣工し、年間約10万人の市民に利用されている。
- ・完成後21年を経過し、通話の不具合など電話設備の機能低下や空調の効きが悪く、利用者から苦情が出るなど空調設備の老朽化が顕著であり、早急な改修を行う必要がある。
- ・雄踏文化センター施設整備工事
(電話設備、冷温水発生機、中央監視装置、空調機用加湿装置改修)

平成22年度の方針

- ・本課(生涯学習課)にて22年度当初予算の概算要求済み。ただし、部局配分経費の調整により、全市的なバランスを考慮して、23年度以降の予算要求となる可能性がある。